

安全データシート(Safety Data Sheet)

サージカルマーカー

1. 製品及び会社情報

製品の名称 : サージカルマーカーレギュラーチップ (50本/箱)
 サージカルマーカーファインチップ (50本/箱)
 (SDS対象; スキンマーカーインク - バイオレット)

商品コード : C22-0016
 C22-0017

会社名 : 株式会社アムコ

住所 : 東京都千代田区飯田橋 4-8-7

担当部門 : 品質保証部

電話番号 : 03-3265-4272

FAX番号 : 03-3265-4335

メールアドレス : qa@amco-inc.net

外国製造業者名 : Aspen surgical products, Inc.

緊急連絡電話番号 : 03-3265-4272

推奨用途及び使用上の制限 : 手術時、皮膚にマーキングするために使用する。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
 引火性液体 : 区分3

健康に対する有害性
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1
 発がん性 : 区分1B
 特定標的臓器毒性(単回暴露) : 区分3(麻酔作用)

環境に対する有害性
 水生環境有害性(急性) : 区分2
 水生環境有害性(長期間) : 区分2

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害情報 : H226 引火性の液体及び蒸気
 H318 重篤な眼の損傷
 H350 発がんのおそれ
 H336 眠気又はめまいのおそれ
 H411 長期継続的影響により水生生物に毒性

ていて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に診断を受けること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。症状がある場合直ちに医師に連絡すること。

予想される急性症状及び遅発性症状

眠気及びめまいのおそれ。頭痛。吐き気、嘔吐。鼻、喉の刺激。重篤な眼刺激。刺通、流涙、発赤、腫脹、かすみ目を含む症状発生のおそれ。失明を含む恒久的な眼の損傷発生のおそれ。鼻と喉の刺激。

応急措置をする者の保護

全般的な対処療法と症状に応じた処置を施すこと。熱傷:直ちに水を掛けること。水を掛けながら患部に付着していない衣類を取り除くこと。救急車を呼ぶ。医療施設への搬送中も水を掛け続けること。症状は遅れて現れることがあるので、被災者を観察下に置くこと。

医師に対する特別な注意事項

ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けること。医師や医療スタッフが関与する物質を認識していることを確認し、自分自身を守るための防護措置をとること。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 耐アルコール泡、水噴霧、ドライケミカルパウダー、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 火災が広がる可能性があるので、ウォータージェットは使用しないこと。
- 特有の危険有害性 : 蒸気は空気と爆発性混合物を形成する可能性がある。蒸気はまた、発火源まで相当な距離を移動してフラッシュバックすることがある。火災中は健康に有害なガスが形成される恐れがある。
- 特有の消火方法 : 火災及び/又は爆発の際は煙を吸入しないこと。危険がなければ、火災現場から容器を移動させること。
標準的な消火手順を用い、他の関与物質の危険性を考慮すること。
- 消火を行う者の保護 : 自給式呼吸器及び完全防護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 : 不要な人員を遠ざけること。人員は流出/漏出個所から離れた風上側にいること。低層区域外にいること。全ての着火源(隣接区域内の喫煙、炎、火花、または火炎)を取り除くこと。清掃時には適切な保護器具と衣類を着用すること。ミストと蒸気の吸入を避けること。適切な防護服を着用していない限り、破損容器や漏出物に触れないこと。漏出個所に立ち入る前に閉塞空間を換気すること。多量の漏出があった場合には、必ず地方自治体に報告すること。個人保護については本 SDS の 8 章を参照のこと。
- 環境に対する注意事項 : 周囲環境への放出を避けること。安全を確保できるならば、更なる漏出や流出を防ぐこと。排水溝、水路または地面への流出を避けること。環境への漏出は全て然るべき管理者や監督者に通知すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : すべての着火源(隣接区域内の喫煙、フレア、火花、または火炎)を排除すること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。火花を発生させない工具を使用すること。漏出物から可燃物(木、紙、油等)を遠ざけ、土壌の汚染及び水路に繋がる下水道、排水システムへの侵入を防止する必要がある。
 少量の流出:土、砂又は不燃性物質で吸収し、後で廃棄するために容器へ移す。汚染物残渣を取り除き、表面を徹底的に清掃する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 情報なし
 安全取扱注意事項 : 使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。裸火、熱源、発火源の近くで取扱い、保管、開封しないこと。製品を直射日光から遮断すること。使用中は禁煙。静電気放電に対する予防措置を講ずること。製品取扱い時に使用するすべての機器は接地すること。火花を発生させない工具と防爆装置を使用すること。この製品を眼に入れないこと。ミストや蒸気の吸入を避けること。長時間の暴露を避けること。可能なら閉鎖システム内で取扱うこと。適切な個人保護具を着用すること。環境への放出を避けること。

接触回避 : 情報なし

保管

安全な保管条件 : 施錠して保管すること。熱、火花、裸火から離して保管すること。直射日光の当たらない涼しい乾燥した場所に保管すること。密閉した元の容器で保管すること。換気の良い場所で保管すること。スプリンクラーを備えた場所に保管すること。混触危険物質(SDSのセクション10を参照)から離して保管すること。

安全な容器包装材料 : 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

成分	日本産業衛生学会許容値	ACGIH TLV	NIOSH
イソプロピルアルコール	400ppm (980mg/m ³)	STEL:400ppm TWA:200ppm	STEL:500ppm (1225mg/m ³) TWA:400ppm (980mg/m ³)

設備対策 : 閉所では特に十分な換気を確保すること。手近な場所に水道と眼洗浄の設備を備えていること。

保護具

呼吸用保護具 : 許容レベルを超える可能性がある場合には、呼吸用保護具(有機

- 蒸気カートリッジ付きの呼吸器と保護面)を使用すること。
- 手の保護具 : 適切な耐薬品手袋を着用すること。
- 眼、顔面の保護具 : サイドシールド付き保護眼鏡(ゴーグル)を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用すること。不浸透性エプロンの使用を推奨する。

9. 物理的・化学的性質

物理状態	: 個体
色	: 紫
臭い	: わずかなイソプロパノール特有のにおい
融点/凝固点	: 情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 情報なし
可燃性	: 情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: 情報なし
引火点	: 情報なし
自然発火点	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
pH	: 情報なし
動粘性率	: 情報なし
溶解度	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
密度及び/又は相対密度	: 情報なし
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	: 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、輸送条件下で安定。
化学的安定性	: 通常の状態ですべて安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下で危険有害反応は知られていない。
避けるべき条件	: 熱、火花、裸火、その他の発火源。発火点を超える温度。混触危険物質との接触。
混触危険物質	: 酸、強酸化剤、イソシアネート、塩素
危険有害な分解生成物	: 通常の使用及び保管条件下では分解されない。

11. 有害性情報

製品の有害性情報	
急性毒性	: 想定されない。
皮膚刺激性/腐食性	: 長期間にわたる皮膚との接触は、一時的な刺激を引き起こすおそれがある。
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 重篤な眼の損傷
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性物質ではない。この製品は皮膚感作性を引き起こすとは予想されていない。
生殖細胞変異原性	: 製品または 0.1% を超える成分が変異原性または遺伝

- 毒性であることを示すデータはない。
- 発がん性 : 発がんのおそれの疑い。
- 生殖毒性 : この製品が生殖または発生への影響を引き起こすとは予想されていない。
- 特定標的臓器毒性(単ばく暴露) : 眠気やめまいを引き起こすおそれ。
- 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない。
- 誤えん有害性 : データなし
- その他の有害性情報 : 長期の吸入は有害である可能性がある。

成分の有害性情報

急性毒性

成分	LD50(経口)	LD50(経皮)	LC50(吸入)
ゲンチアナ紫色素	—	—	—
イソプロピルアルコール	4710mg/kg(Rat)	12870mg/kg(Rabbit)	72.6mg/L 4h(Rat)

12. 環境影響情報

製品の環境影響情報 情報なし

成分の環境影響情報

生態毒性 : 長期的な影響で水生生物に有毒

成分	淡水魚類	甲殻類(ミジンコ)
ゲンチアナ紫色素	LC50:0.1mg/L 48h(メダカ)	LC50:>10000mg/L 24h NOEC:141mg/L 16days 30mg/L 21days
イソプロピルアルコール	LC50:9640mg/L 96h (Pimephales promelas)	EC50:>100mg/L 21days

- 残留性/分解性 : 利用可能な情報はない
- 生体蓄積性 : 生体蓄積性は想定されない
- 土壌中の移動性 : 利用可能な情報はない
- オゾン層への有害性 : 予想される有害性はない。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 関連法規及び地域の条例等に従って適切に廃棄する。
- 汚染容器及び包装 中を完全に空にしてから、関連法規及び地域の条例等に従って適切に廃棄する。

14. 輸送上の注意

国内規制

- 陸上規制情報 : 毒物及び劇物取締法の規則に従う。
- 海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
- 航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

15. 適用法令

ゲンチアナ紫色素

毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法	: 非該当
消防法	: 非該当
船舶安全法	: 毒物類・毒物(危険則第3条危険物告示別表第1)
航空法	: 毒物類・毒物(施行規則第194条危険物告示別表第1)

イソプロピルアルコール

毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 第2種有機溶剤等(施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号)
化学物質排出把握管理促進法	: 非該当
化審法	: 優先評価化学物質(法第2条5項)
消防法	: 危険物 第四類 アルコール類
船舶安全法	: 引火性液体(危険則第2,3条危険物告示別表第1)
航空法	: 引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)

16. その他の情報

この SDS に記載した情報は、製品の仕様や具体的な特性を保証するものではありません。情報はこの製品の取扱い、保管、使用についての知見に基づいて、健康と安全についての一般的知識をお伝えすることを意図しています。製品の通常と異なる、あるいは標準的でない使い方、または説明書や注意書きに従わない使用、取扱いには適用できません。

この SDS は現時点で弊社が知り得る最新の情報に基づいて作成したものです。その内容を保証するものではありません。今後新たな情報を入手した場合には、追加または訂正することがあります。

- 参考資料
- : JIS Z7252:2019 GHS に基づく化学物質の分類方法
 - : JIS Z7253:2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
 - : SDS Aspen Surgical Products Inc.